

# 入選句

荒海に音消されたる時雨かな

埼玉県鴻巣市

大澤良州

秋の蟬烈し良寛偲びをり

新潟県三条市

中村梨枝

良寛堂ひとめぐりして夕涼み

神奈川県横浜市

藤 英樹

筆塚の木洩れ日ゆるる薄もみぢ

新潟県長岡市

立石幸子

潮騒のはるか眼下や風薫る

新潟県長岡市

松井広宇

虎杖の長け海風の吹き上ぐる

新潟県長岡市

松井広宇

夏の夜はおけさ踊りの良寛堂

新潟県新潟市

大木栄吉

いさり火の真上にかかる月の暈

新潟県長岡市

石田富男

良寛の遺墨の中に秋の声

新潟県長岡市

西巻浩司

息ひそめ春竹の子のかくれんぼ

新潟県長岡市

牧野隆一

飛魚の沖へ沖へと光り飛ぶ

新潟県長岡市

丸山マキ子

磯馴れ松慈しむかに雪風巻く

新潟県長岡市

立石幸子

妻入りを宙返りする秋燕

新潟県長岡市

石田富男

手に取りて初めて匂ふかりんかな

新潟県三条市

木村善行

赤とんぼ羽いそがしく風の中

新潟県新潟市

瀬賀進二

良寛の旅立ちの丘秋涼し

新潟県長岡市

安井里子

卯波立つ佐渡を遙かに良寛像

新潟県長岡市

白井良浩

雲の峰眉を上げたる芭蕉像

新潟県長岡市

白井良浩

日焼け顔今日も大漁波高し

新潟県新潟市

大木栄吉

佐渡の金運んだ道やねこじやらし

新潟県長岡市

小間貴夫

良寛堂囲んで写生夏休み

新潟県長岡市

石田富男

出雲崎妻入り恋し夏の風

新潟県加茂市

荒井 隆

椿咲く天領の里カモメ達

新潟県三条市

袖山義忠

もみぢ散る泉ひとつを隠すまで

埼玉県鴻巣市

大澤良州

刻々と夕焼け染まる出雲崎

新潟県長岡市

西巻浩司

人肌に酒をぬくめて良寛忌

新潟県出雲崎町

宮路耕太

ものの芽や枯山水の芭蕉園

新潟県出雲崎町

菅沼義忠

里山の川のせせらぎ露の臺

新潟県出雲崎町

菅沼義忠

両側の夏草刈られ石の階

新潟県長岡市

松井広宇

空蟬のふたつ連なり良寛堂

新潟県長岡市

石田益枝

一分の黙に海風終戦日

新潟県長岡市

小間貴夫

日時計となりゆく障子明かりかな

兵庫県尼崎市

池田誠吉

芭蕉園の隅で拾ひし落し文

新潟県長岡市

丸山マキ子

更衣仕立て直しのサンドレス

新潟県長岡市

石田益枝

秋旅に並ぶ子の背に思いよせ

新潟県上越市

坪井絵美

冬曇白波尽きぬ佐渡の海

東京都新宿区

梶浦珠代

出雲崎深い歴史の風が吹く

新潟県長岡市

中島暢子

入学を祝う夕風きらめいて

新潟県柏崎市

坂井ひらり

海神や色深くして雪予報

新潟県三条市

藤田幸子

浮輪買う父子の海の出雲崎

新潟県長岡市

反町幸子

銀河の尾に佐渡の漁火ふれもして

新潟県長岡市

袖山リエ

蕉翁と共に目をやる夏の海

新潟県長岡市

若林みのる